



ローマの兵士たちが、イエスさまのおはかの入り口をふさぎ、見はっていますね。いまや、だれもおはかに入れないうちろん、出ることもできませんよ。

19



さて、これでこのおはなしは、おしまいか。もし、そうだったら、かなしいですね。いえいえ、おしまいかありません。神さまは、なにかすばらしいことを、してくださいました。じつは、イエスさまは死んだままでは、なかったのです。

20



その週のはじめの日です。あさはやく、イエスさまの使徒たちが、おはかへいってみると、あれあれ、まえにおいてあった石がありません。ちかくに、ころがっています。そこで使徒たちは、おはかの中をのぞいてみました。イエスさまはどこでしょう。もういらっしやいませぬ。

21



そのイエスさまのおはかのそばで、ひとりの女の人が、しくしく泣きつづけていますよ。そこに、だれかあらわれたようです。だれでしょうか。あつ、イエスさま！ イエスさまが、来られたのです。かの女は、大よろこび。みんなに、しらせなければ！ いそいで、みんなのところまで走ります。「イエスさまは、生きていらっしや！ 死からよみがえられたよ！」

22



いちばんはじめのイースター

それからすぐ、イエスさまは、使徒たちのところにいらっしやいました。そして、みんなにクギでうたれた手を、見せられました。ほんとうでしたね。イエスさまが、よみがえられたことは、「イエスなんて、知らないよ。」と、言ったペテロも、ゆるしてくださいました。みなさん、クリスマスの日、イエスさまは天国からこの地にきてくださいました。そしていま、天国へかえっていかれたのです。イエスさまは使徒たちに、このように言われましたよ。「すべての人に、わたしのことを伝えなさい。」

23

いちばんはじめの イースター

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

マタイによる福音書 26 章—28 章、
ルカによる福音書 22 章—24 章、
ヨハネによる福音書 13 章—21 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。
詩篇 119:130

文 Edward Hughes
絵 Janie Forest

翻訳者 Yuko Kajiki
出版社 Lyn Doerksen

60話の第54話

M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg MB R3C 2G1 Canada

許可： 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくいには、死です。

神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架上で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくださったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってください、よみがえって、今また生きていらっしやることを信じます。どうか、私のところの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにいられることができます。あなたの子として、生きることが出来ますよ、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3:16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！

日本語 Japanese



そのおんなの人は、丘の上で、じっと立っただま。たくさんの人があつまって、ザワザワしていますね。かの女の目は、なみだでいっぱい。おそろしいことが、おこっているところを、じっと見あげています。かの女のむすこは、死にかけているのです。そう、おおかさんマリアは、そのちかくで、むすこのイエスさまがクギでうたれ、十字架上にかがられたのを見ていました。

どうして、こんなことがおこったのでしょうか。どうして、すばらしい生き方をなされたイエスさまが、そのようなひどいおわりかたをされるのですか？

どうして、神さまは、じぶんの子イエスさまが、十字架上でクギでうたれて、死んでしまってもいいと、言われたのでしょうか？ イエスさまは、自分だれであるかを、まちがわれたのですか？

それとも、神さまのごけいがかくが、うまくいかなかったからでしょうか？

2



いいえ、けっして神さまのごいかにくが、うまいかなかったのじゃありません。イエスさまが、なにかまちがったことを、されたのでもないのです。イエスさまは、とても悪いわたしたち人間ののために、ころされてしまうだろうって、はじめからわかっていらっしやいました。イエスさまが、まだ赤ちゃんだったとき、シメオンというおじいさんが、マリアにこう言ったことがありました。「しょうらい、かなしいことがあるよ。」

3



イエスさまが、ころされる何日かまえのことです。ひとりの女の人が、イエスさまの足に、よいかおりのすこう油を、ふりかけました。「えっ、そんなことするなんて、お金のむだだよ。」使徒たちは、ブツブツもんくを言いました。そのとき、イエスさまは言われました。「いや、この人はわたしに、よいことをしてくれたんだよ。わたしが死んで、おはかに入るじゅんぴを、してくれているのだ。」イエスさまは、なんてへんなことを言われるのでしょうか！

4



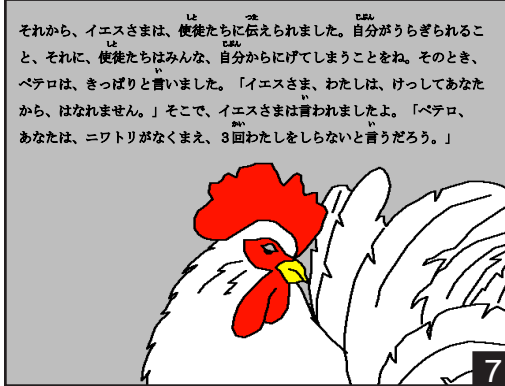
このあと、イエスさまの使徒の一人ユダは、祭司長のいうとおりにして、イエスさまをうらぎってしまいます。そのかわり、ユダは、祭司長にぎんか30まいをもらいましたよ。

5



さて、ユダヤ人のすぎこしまつりのときです。イエスさまは、使徒たちといっしょに、さいごのしよくじをされました。そこで、イエスさまは、使徒たちに神さまのすばらしいさや、神さまを愛する人々へのやくそくについて、おはなしされました。そして、イエスさまは、パンとぶどうしゆをとり、使徒たちに、わけあたえられました。これらのことは、イエスさまの体と血によって、わたしたちの罪がゆるされることを、使徒たちにおもいだしてもらったためでした。

6



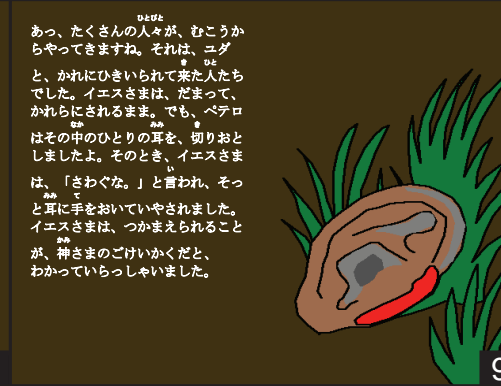
それから、イエスさまは、使徒たちに伝えられました。自分がうらぎられること、それに、使徒たちはみんな、自分からにげしてしまうことをね。そのとき、ペテロは、きっぱりと言いました。「イエスさま、わたしは、けっしてあなたからは、はなれません。」そこで、イエスさまは言われましたよ。「ペテロ、あなたは、ニワトリがなくまえ、3回わたしをしらないと言うだろう。」

7



そのよるおそく、イエスさまは、グッセマネのにおへ、おいのりに行かれました。おやおや、イエスさまといっしょに、おいのりに行った使徒たちは、ぐつりねむってしまいました。でもイエスさまは、いのりつづけられています。「・・・ああ、わたしの父よ、もし、できることでしたら、どうかこのさかすきを、わたしからすぎさせてください。けれども、わたしのおもいではなく、みこころのままになさってください。」

8



あつ、たくさんの人々が、むこうからやってきますね。それは、ユダと、かれにひきいられて来た人たちでした。イエスさまは、だまって、かれらにされるまま。でも、ペテロはその中のひとりの耳を、切りおとしましたよ。そのとき、イエスさまは、「さむくな。」と言われ、そつと耳に手をのべていやされました。イエスさまは、つかまえられることが、神さまのごいかにくだと、わかっていらっしやいました。

9




人々は、イエスさまを、とてもえらい祭司のうちへつれて行きました。そこで、ユダヤ人のリーダーたちは言いました。「イエスは、死ぬべきだ。」さて、そのときペテロはどこにいたでしょう。じつは、すぐ近くにいたのですよ。祭司の召しつかいのたきぎのそばに立ち、中のようすをじつと見ていました。

10



人々は、ペテロをじつと見つめて、「あれっ、おまえは、イエスといっしょにいたじゃないか。」と、3回言いました。でも、ペテロは、そのたびに言いました。「イエスなんて、しらないよ。」ちょうど、イエスさまが言われていたように、ペテロは、3回しらないって言いましたね。ペテロは、イエスさまを、のしるようなことさえ言いましたよ。

11



コケコッコー。ちょうどそのとき、にわとりがなきました。そのこえは、まるで神さまのこえのよう。イエスさまの言われたとおりになりましたね。イエスさまのことをおもいだしたペテロは、いつまでもいつまでも、はげしく泣きつづけました。

12



なんてひどいことをしてしまったんだろう。ユダもまた、いまわかりました。イエスさまは、なにひとつ罪をおかしていないし、わるいこともしていません。もうこんなお金はいらない。こうおもったユダは、30まいのぎんかを祭司長たちに、かえしにきました。けれども、祭司長たちは、うけとらうとしません。

13



そのお金を、バラバラとゆかになげすけたユダは、そこから出て行きました。そして、自分でくびくくって、死んでしまったのです。

14



祭司長たちは、イエスさまを、ピラトのまえへつれていきました。ピラトは、ローマのそうとくで、1ばんえらい人ですよ。ピラトは、言いました。「この男は、なにをしたのだ。なにもわるいことを、していないじゃないか。」けれども、たくさんの方が、大きいこえでさけつづけました。「はりつけにしろ！十字架につけるんだ！」

15



あまりのさけび声に、とうとうピラトは、あきらめてしまいました。しかたなく、イエスさまに十字架のはりつけの刑を、言いわしたのです。兵士たちは、イエスさまをなぐり、かおにつばをはきかけ、むちでうちました。それに、かれらは、ひどいかんむりを作り、イエスさまのあたまに押しつけました。かんむりのトゲトゲが、イエスさまのあたまに、つきさざっています。それから、イエスさまが死んでしまうように、木の十字架に、クギでうちつけたのです。

16



イエスさまは、ずつとまえから、自分はそのようにして死ぬことが、わかっていらっしやいました。それにまた、自分が死ぬことで、自分をしんじる罪人が、ゆるされるようになることもね。ちょうどそのとき、わるいことをした二人の罪人も、イエスさまのそばの十字架にかけられました。でも、そのうちの一人は、イエスさまをしんじたのです。それで、その人は、死んで天国へいきましたよ。それじゃ、もう一人は？イエスさまをしんじなかつたのです。それで、天国へは、いきませんでした。

17



「なにもかもなしとげられた。」何じかんでも苦しめられたあと、イエスさまは、こう言われました。そして、亡くなられたのです。これで、イエスさまは、おしごとをすべて終えられたのです。そのあと、イエスさまの友だちがやっつけてきて、イエスさまを自分のおはかにうめましたよ。

18